

単元名：作ろう，世界に一つの物語  
「ある人物になったつもりで」

男子 16 名 女子 14 名 計 30 名

指導者 入澤 ゆう子

単元について

- 本単元は，小学校学習指導要領国語科第3学年及び第4学年，「B書くこと」の指導事項「イ 文章全体における段落の役割を理解し，自分の考えが明確になるように，段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。」「ウ 書こうとすることの中心を明確にし，目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。」の内容を受けて設定したものである。本単元では，学習指導要領の言語活動例（2）「ア 身近なこと，想像したことなどを基に，詩をつくったり，物語を書いたりすること。」を基に，一枚の地図から物語を書く言語活動を位置付ける。

本単元では，3年生で行った人物の行動や会話，人物像などを想像して物語を書く学習を発展させ，中心人物を決めて，一人称で物語を書く学習を行う。物語を書くにあたっては，どんな主人公にするか，また，そこでどんな事件が起こるか想像を広げることで書くことの中心を明らかにして書く力や，「物語の発端—出来事の展開—出来事の解決」という物語の構成を踏まえて書く力を身に付けることをねらいとしている。また，物語を作ることを通して，想像することの楽しさや想像した内容の違いを交流する喜びを味わわせたいと考えた。

- 児童は，1学期には，「われら東小新聞社！～教えます！わたしたちのすきなところ～」の単元で，読み手に伝えたいことを明確にし，読み手が分かりやすいように自分の体験や取材の結果について記事を書く学習を行った。児童は，意欲的に新聞記事づくりに取り組むことができ，特に取材活動を進んで行っていた。しかし，取材した事実を書く新聞記事ではなく，自分の感想を混ぜた新聞記事になり，目的に応じて書く力に課題が見られた。

本学級の児童は，4月に行った「海田町標準学力調査」において，「自分の考えが明確になるよう，段落相互の関係を考えて書くことができる。」の通過率は74.2%と，全国平均と比べ高かった。しかし，日頃の児童の学習の様子を見ると，書こうという意欲はあるものの，書きたいことの中心を明確にすることには課題のある児童が多い。また，普段の日記では，思ったことを順番に書いていくなど「始め」「中」「終わり」の構成を意識していない児童も多い。

○課題を発見・解決する力

課題の設定においては，小学生が書いた物語についての紹介を聞き，物語を書くことへの意欲につなげていく。3年生に楽しんで読んでもらえる物語を書くことを目的とし，読む人を楽しませる物語をどうやって書けばいいのか，物語の構成にも関心をもたせながら物語づくりについて学ばせていきたい。導入では，これまでに読んだ本について想起させ交流する。また，3年生の朝読に読んでもらう絵を提示して，相手意識をもたせた上で何が起こりそうか，起こりそうな出来事や結末を想像させる。常時活動としては，物語の読み聞かせを行い，想像を膨らませるようにしたり，朝読の時間などを使って物語の材料集めを行わせたりしておく。

○深く考える力

本単元で付けたい主な思考力は，主人公の性格と関連付けながら行動や会話を物語に書く力である。絵から何が起こりそうか，起こりそうな出来事や結末を付箋に書き出し，表を基に可視化した上で出

来事と主人公の性格を関連付けて整理する。

物語のモデルを読み、物語の基本的な特徴を見付ける際には、主人公やその他の登場人物の役割、人物設定について気付かせたり、「物語の発端—出来事の展開—出来事の解決」の構成を理解し、出来事と解決が繰り返され、発端から文末へと至る物語の構成をとらえさせたりしていきたい。

○**自己を理解する力**

課題の設定では、単元のゴールを明確にするとともに物語を書くために欠かせないものを考える必要があることに気付かせる。その力を付けるためにどのような学習をしていけばよいか話し合いながら、物語作りを通して、どんな力を付けたらよいかを児童とともに考え、単元終了時のゴールの見通しをもたせる。学習内容や付けたい力を提示し、随時活用することで児童が見通しや目的意識をもって学習に取り組めるようにしたい。また、構成や記述のそれぞれの段階で、視点を明示して相互評価を行わせることにより、互いの表現のよさを認め合ったり、自らの表現を見直したりする振り返りの場を充実させる。単元の振り返りでは、物語を友達と交流し、友達の表現のよさや工夫に気付かせたい。「学びのモニタリング」の時間には、作品や友達からの評価やノートなどを基に、単元のはじめに立てたゴールの見通しの視点で自らの学びや学び方を振り返る。その中で、同じ絵でも想像する内容が違うことのおもしろさや良さを知り、お互いを理解することにつなげたい。

**単元の目標及び内容について**

- 登場人物や構成の特徴、表現の工夫を確かめながら、それらを活用して自分の思い描いた物語を書こうとする。 【関心・意欲・態度】
- 登場人物や場面設定、事件とその結末など、物語の基本的な構成や話の筋を考えることができる。 【書くこと イ】
- 主人公の性格を設定し、その性格と関連付けた行動や会話を入れて物語を書くことができる。 【書くこと ウ】
- 句読点を適切に打ち、また、段落の始め、会話の部分などの必要な個所は行を改めて書いている。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

**単元の評価規準**

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
<b>【言語活動】</b> 絵から想像したことをもとに物語を書く。		
これまでに読んできた冒険物語を思い出し、登場人物や構成の特徴、表現の工夫を確かめながら、それらを活用して自分の思い描いた物語を書こうとしている。	登場人物や場面設定、事件とその結末など、物語の基本的な構成や話の筋を考えている。 主人公の性格を設定し、その性格を表す行動や会話を入れて物語を書いている。	句読点を適切に打ち、また、段落の始め、会話の部分などの必要な個所は行を改めて書いている。

## 指導と評価の計画

全9時間

次	時	学習活動	評価				
			関	書	言	評価規準	評価方法
一	1	<p><b>課題の設定（1）</b></p> <p>○小学生が書いた物語についての紹介を聞き、自分で物語を書くという学習課題をもち、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに読んだ本の種類や面白さについて想起させ交流する。</li> <li>・3年生の朝読に読んでもらう絵を提示して、何が起こりそうか、起こりそうな出来事や結末を想像する。</li> <li>・単元で付けたい力について考え、ゴールの見通しをもち、学習計画を立てる。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語を作ることに意欲をもとうとしている。</li> </ul>	行動観察
二	2	<p><b>情報の収集（2）</b></p> <p>○物語のモデルを読み、物語の基本的な特徴を見付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公やその他の登場人物の役割、人物設定などの特徴について確認する。</li> <li>・物語の構成について理解する。</li> <li>・会話文、音や様子を表す言葉、比喻などの物語を書く技を知る。</li> <li>・物語作りの手順を確かめる。</li> </ul>		○	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・句読点を適切に打ち、また、段落の始め、会話の部分などの必要な個所は行を改めて書いていることが分かっている。</li> <li>・登場人物の役割、物語の構成などについて理解し、基本的な構成を考えている。</li> </ul>	行動観察 ワークシート
	3	<p>○物語の設定・大まかなあらすじを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一枚の地図を手に入れて、出来事が起こる場所を決める。</li> <li>・人物の設定をする。</li> <li>・物語の中で起こる出来事と結末を考える。</li> </ul>		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図の様子から想像を広げ、物語のあらすじを考えている。</li> </ul>	行動観察 ノート

物語を集め、読書をする。

次	時	学習活動	評 価				
			関	書	言	評価規準	評価方法
4	4	<b>整理・分析（３）</b> ○物語の「始め」「中」「終わり」の場面の構成メモを書き、「中」の内容を具体的に考える。 ・登場人物の行動・会話・気持ちや場面の様子を考え記述のためのメモを作成する。 <b>【本時】</b>	物語を集め、読書をする。	○		・自分で考えた物語のあらすじを基に、構成メモを整理し「中」の場面の様子について想像を広げ、詳しくしている。	行動観察 ワークシート
		5・6		○		・主人公の性格や特徴と関連付けて、出来事の状況や、それを乗り越えるための作戦を考え、物語を書いている。	行動観察 ワークシート
		7		◎	○	・主人公の性格や特徴と関連付けて、出来事の様子が伝わる物語となっているか確認しながら清書している。 ・句読点の打ち方や改行の仕方に気を付けて、物語を清書している。	行動観察 ノート
三	8	<b>振り返り（２）</b> ○作品を交流し合う。 ・「４－２本屋大会」を開き、学級の友達同士で物語を読み合い、作品の評価を付箋に書く。		○		・自分と友達の物語を読み比べて、よさや同じ場面でも物語の書き方に違いがあることに気付こうとしている。	行動観察 ワークシート
		<b>朝読の時間</b> ○3年生の朝読の時間に自分たちが書いた物語の読み聞かせをする。					
三	9	<b>学びのモニタリング</b> ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・朝読の時間に読み聞かせをした3年生からの感想を読み合い、感想を交流する。 ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点で構成メモや作品を基に自らの学びを振り返る。		○		・学習したことをもとに自らの学びを振り返ろうとしている。	行動観察 ワークシート

## 本時の学習

### (1) 本時の目標

- 登場人物と場面設定、事件とその結末などを関連付けて構成メモを書くことができる。

### (2) 本時の評価規準

- 自分で考えた物語のあらすじを基に、構成メモを整理し「中」の場面の様子について想像を広げ、詳しくしている。 【書く能力】

### (3) 本時の学習展開（4時間目／全9時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力
1 本時の課題を確認する。  めあて	◇人物設定を読み直し、物語の構成メモを書くという学習の見通しをもたせる。	
一枚の地図にえがかれている場面について構成メモを書き、想像を広げよう。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>本時のゴールの見通し</b></p> <p>A：場面の出来事と人物設定を関連付けながら音や様子を表す言葉を使って物語の構成を考えて書いている。</p> <p>B：場面の出来事と人物設定を関連付けながら物語の構成を考えて書いている。</p> </div>		
2 物語の構成メモを書く。 ○「始め」「中」「終わり」の構成メモを書きましょう。 ・始めは、ぼうけんに出る理由だから……。 ・終わりは、つるぎを手に入れて森が……。 ・中は、出来事を2つ考えてだんだんワクワクさせていきたいな。	◇前時までの学習内容を振り返らせ、物語を書くときのポイントを確認する。	
3 構成メモを交流する。 ○グループで友達の構成メモを読み合い、よいところや直したらよいところを見付けましょう。 ・くまに出会っただけしか書かれていないから、どうやって通り抜けたかを書くといいよ。 ・こわれそうなつり橋をいのししを登場させて渡るところが考えているね。	◇グループでお互いの構成メモを読み合い、よさと改善点を見付け、書き加えよりよいメモになるよう話し合わせる。  ◇主人公の性格や特徴に合う作戦や行動となっているかどうかについて感想を話し合わせる。	☆主人公の性格と行動を関連付けている。

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p> <p>☆育成したい資質・能力</p>
<p>3 構成メモを基に、物語の中(出来事1と出来事2)のメモを書く。</p> <p>○主人公がどんな知恵や行動で解決するのか、場面の様子と行動を書いていきましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>□思考の場の工夫<b>関連付ける</b></p> <p>登場人物と場面設定、事件とその結末などを関連付けながら構成メモを見直し、よさや改善点を見付け、構成メモに書き込む。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「落ちたらどうしよう。」という会話は、わたしの不安な気持ち。</li> <li>・水の流れが速そうに見えるから「流れの速い川」。</li> <li>・「ゴーゴー」という音が聞こえてきそう。</li> </ul> <p>4 本時の学習をまとめる。</p>	<p>◇「場面の様子」(音や様子を表す言葉)「行動・会話・気持ち」を入れ、読み手に出来事の様子が伝わりやすいメモを書かせるようにする。</p> <p>◆既読の物語の描写などから、自分の物語にふさわしいものを取り入れさせたり、行動や様子を表す言葉のカードを用いたりして、場面の様子が伝わるメモを書けるようにする。</p> <p>◇伝わりやすい物語にするために、どんな言葉を文章に入れたかをまとめるようにする。</p>	<p>◎自分で考えた物語のあらすじをもとに、場面の様子について想像を広げ、詳しくしている。</p> <p>〔書く能力〕(行動観察・ワークシート)</p>
<p>★めざす児童の姿</p> <p>こわがりな主人公が何とかつり橋をわたるために、いのししを登場させた。人物の設定から作戦を考えたり、行動を考えたりした。</p>		
<p>◇次時は、メモを基に物語の下書きを書くことを伝える。</p>		

(4) 板書計画

作ろう、世界に一つの物語！

①一枚の地図にえがかれている場面について構成メモを書き、想像を広げよう。

ゴール

○場面の出来事と人物設定を関連付けながら  
◎音や様子を表す言葉

終わり	中	始め	出来事
・勇気のつるぎがぬけて、ままがとけた。	②くまに出会いおそれそうになったが、おかしをあげて道をおしえてもらった。	①近道のこわれそうなつり橋を、いのししに追いかけてられて夢中でわたりきった。	・公園で遊んでいると一まの地図をひろった。

行動・会話・気持ち	場面の様子	行動・会話・気持ち	場面の様子
-----------	-------	-----------	-------

・夢中で逃げる ・いのししに追いかけられる	・「落ちたらどうしよう。」 ・何とかしてわたらないと ・いのししに追いかけられる	・とおせんぼうしているよう ・水がこわい ・鳥が飛んでいる	・流れの速い川 ・ゴーゴ ・こわれそうな橋・ギーギー ・鳥が飛んでいる
--------------------------	--	-------------------------------------	--

まとめ

登場人物の性格に合う作戦・行動を考えた。

〈参考〉学びのモニタリング

海田東小 学びのモニタリング

作ろう、世界に一つの物語！

「ある人物になったつもりで」

四年 組 番 ( )

①想像を広げたり、友達と交流したりしながら楽しんで物語を書くことができた。

とても	まあまあ	ふつう	あまり	まったく
5	4	3	2	1

②主人公の性格を考えて行動や会話を物語に書くことができた。

とても	まあまあ	ふつう	あまり	まったく
5	4	3	2	1

③「始め」「中」「終わり」の構成を考えて物語を書くことができた。

とても	まあまあ	ふつう	あまり	まったく
5	4	3	2	1

④これまでの自分の国語の学習のようすとくらべながら学習を振り返り、感想を書きましよう。

学び方について

自分が成長したこと

課題や次の目標